

だれにでももっとやさしいまちづくり  
～太田川のまわり 加計小5年調査隊～

本単元で育成をめざす資質・能力

気づく力 やりぬく力 自分で考えて動く力

令和4年10月12日(水)第6校時

第5学年 16名

## I 単元について

## 地域や学校の特色と教師の願い

学校のすぐそばに、月ヶ瀬温泉があり、そこは青年海外協力協会(JOCA)が運営している。「地域を元気にする」という願いから、様々な活動をしている。他にも、太田川の鮎をはじめとして生き物を守りたいと活動している人や、安芸太田町の代表的な産業である林業に携わっている人、町の観光資源を活用しまちを元気にしようとしている人など、地域の活性化に多くの人が関わっている。

そういう人がいるということ、また自分たちが住む町がどういう状況にあるのか等、詳しく知っている児童は少ない。自分たちの住む町に、ネガティブな感情を抱いている児童は少ないように思える。しかし、地域のために頑張っている人や地域を支えている人、そういう人たちの思いや願いを知り、自分たちにできる様々な取組を考え、実行する中で、より郷土愛を育み、郷土への誇りを持つ児童に育ててほしい。

知りたいことを見つけ、知りたいことを知るために、自分で考えて動くことと、やりたいと思った活動を、最後までやり抜こうとする姿を期待したい。

## 児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、学校のすぐそばを流れる太田川へ探検に行き、一人一人の疑問から、みんなで追究していきたい疑問を見つけていった。探検に行ったときに思った以上に魚や生き物がいなかったことから、川が汚れているのではないかなどの疑問を持った。その疑問を解決するため、インタビューや調査を行うことで主体性や協働性を育ててきた。

5年生になり、総合的な学習の時間における児童の興味・関心は、太田川のことを中心として多岐にわたり、様々な意見が挙がっている。5月、昨年度の5年生と同様に地域の月ヶ瀬温泉を見学した際、聞きたいことがたくさんあったにも関わらず、一つも質問することができなかった。そこから、昨年度のインタビューや調査でも、あまり上手に聞きたいことを聞くことができなかったと自分たちでふり返っている。

また、1学期にはインタビューを生かして「友だち紹介文」を書く活動を行ったが、最後まで書き切ることができずに活動が中途半端に終わっている児童もいる。勢いよく書き始めたものの、途中から言葉が見つからなかったり、推敲に時間がかかっているうちにあきらめてしまったりしており、少し難しくなると簡単にあきらめてしまう様子が見られる。主体的に学習に取り組む態度の個人差はかなり大きい。

## 学習の題材

児童の興味・関心を単元の中心に据え、児童がやってみたいと決めた、「月ヶ瀬温泉(JOCA×3)について」、「河川敷の活用方法」、「太田川の水について」、「太田川のごみについて」のそれぞれのテーマで、児童が抱えている問いを解き明かすことを探究課題として設定し、学習計画を立てる。どの内容についても、地域に関わっている人にインタビューできるチャンスがある。月ヶ瀬温泉については、青年海外協力協会の方から地域活性化に向けた話を聞くことができる。河川敷の活用方法や太田川の水やごみについては、地域商社あきおたの方や、町役場の観光推進室や企画課の方から話を聞くこともできると思われる。また、毎年行われている林業体験でも産業観光課の方とつながることができる。調べたり見たり聞いたりして得た知識や学んだことを、全員で持ち寄り共有する。そこから地域で活躍する人の願いや思いに気付くことができると思われる。学習過程に沿って何度も、新たな問いや探究課題を設定し、解決に取り組む中で地域の魅力や課題、特徴をより深く知ることができる。

そして、探究活動を通して、地域の活性化に尽力している人々や支えている人々の願いや努力を知ることで、地域への愛着をもつことにつながるとともに、地域の一員であることを真剣に考え、行動に移すことにもつながると考える。

## 単元の目標

学校周辺の調べたいことを調べていくことで、安芸太田町の魅力や課題、特徴を知り、それぞれに関わる人たちの活躍を知ることを通して、地域の魅力を発信している人、課題を解決しようとしている人、地域の特徴を魅力へ昇華しようとしている人など、地域の人々の願いや努力を理解し、地域の発展のために自分にできることを考え、実践しようとする心情を養う。

## 2 指導の手立て

児童は1学期にインタビュースキルを磨く練習をしている。まだまだ上手にインタビューできるどころまでインタビュースキルが上達しているわけではないが、より効果的なインタビューを行うには、事前の準備が必要であることを学び、準備さえできれば今までより上手にインタビューを行うことができるかと手ごたえをつかんでいる児童もいる。そこで、それぞれが追究したい問いについて調べ始めるときには、できるだけ多くの地域の人と触れ合えるようにしたい。話を聞くだけでなく、インタビューすることにより、地域の人々の思いや願いを引き出し、安芸太田で活躍する人たちの思いを子どもたちが知り、まとめることで、新たに学級全体の探究課題が生まれ、解決への道筋が見えてくるのではないかと考えている。

## 3 単元の評価

### (1) 内容のまとめりごとの評価規準

網掛けは本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動における評価規準
知識・技能	知識	・探究テーマに関する知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。
	技能	・探究の過程における課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。
	探究的な学習のよさの理解等	・学習と生活のつながりを意識し、学習をふり返ることで、探究的な学習のよさを理解している。 ・地域の特徴やよさ、地域に暮らす人々の努力や工夫に気付いている。
思考・判断・表現	「課題の設定」	・探究テーマを取り巻く状況の中からよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。 ・解決への方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。
	「情報の収集」	・本やインターネット、インタビュー等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを更新している。 ・蓄積した情報を評価し、足りない情報を収集している。
	「整理・分析」	・目的に合う方法で筋道立てて思考し、情報の共通点や相違点を見つけ、関係や傾向を明らかにしている。 ・事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を表現している。 ・相手意識や目的意識をもち、情報を精査している。
	「まとめ・表現」	・相手意識や目的意識をもち、効果的な表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	・活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。
	主体性	・自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決をしようとしている。
	協働性	・自他の意見を大切にし、よりよい解決に向けて、自分にできることを見つけて行動しようとしている。

将来展望・社会参画	・実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に活かそうとしている。
-----------	---

(2) 学習で高めたい力 (資質・能力ルーブリック)

	B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態	Bに到達するための手立て
気づく力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ内容に興味・関心、驚きをもちながら、調べたいことを見つけている。</li> <li>・疑問や驚きを基に、課題を設定している。</li> <li>・地域に暮らす人の想いや願いに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ内容に強く興味・関心をもちながら、調べたいことを見つけ、関連するテーマに気付いている。</li> <li>・疑問や驚きを基に、課題を設定し、課題解決への見通しをもっている。</li> <li>・地域に暮らす人の想いや願いに気づき、自分にできことを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのかかわりを重視する体験活動を設定し、児童が追究したい課題の発見につなげ学習活動の充実を図る。</li> <li>・グループ内、グループ間での考えや意見の交流などの場を設けることで、疑問や驚きを共有したり、自分の調べたいことを具体的にイメージしたりできるようにする。</li> </ul>
自分で考えて動く力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いや答えを見つけたり、問いを更新したりしている。</li> <li>・目的に合う方法で筋道立てて思考し、自分の考えと根拠を表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いや答えを見つけたり、関連付けたりして、問いを更新している。</li> <li>・目的に合う方法を選んで筋道立てて思考し、自分の考えと根拠をみんなに分かりやすく表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用やホワイトボードの活用等、また個人やグループでの活動等を、バランスよく行うようにする。他のグループの活動を見ることができるようになることで、互いに活動のヒントをもらったり、刺激を受けたりできるようにしていく。</li> <li>・次の活動は何をするのか、個人やグループで考えることにより、見通しを持つ。</li> </ul>
やりぬく力 (主体性・協働性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決をしようとしている。</li> <li>・自他の意見を大切にし、自分にできることを見つけて行動しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で課題を決めて、目的や状況に合うよりよい方法を選択し、自分から課題解決をしようとしている。</li> <li>・自他の意見を大切にし、友達とサポートし合って (時には役割分担して) 行動しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人やグループで学習計画を立てることにより、自分または自分たちの活動という意識を強くし、意欲的に活動できるように支える。</li> <li>・個人の活動でもしっかりと動くことができるよう、グループでの活動時に自分の役割を明確に持つことができるようにする。</li> </ul>

4 単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全40時間）

総合的な学習の時間の見方・考え方  
資質・能力

【課題の設定】①（調査隊ホップ！）

○これまでの学習をふり返り、学校周辺の興味関心を出し合い、探究テーマを決める。（1）

気づく力 自分で考えて動く力

- ①月ヶ瀬温泉（JOCA×3）について
- ②太田川河川敷の活用方法
- ③太田川の水を飲む
- ④太田川河川敷のごみ拾い

【情報の収集】【整理・分析】

○学習計画を立てる。（1）自分で考えて動く力

○ルーブリックを作成する。（1）やりぬく力

○探究テーマに即した問いを書き出す。（1）自分で考えて動く力

○グループで問いを持ち寄り追究したい問いを整理する。（1）

気づく力 やりぬく力 自分で考えて動く力

本時5 / 40

【課題の設定】②（調査隊ステップ!!）

○グループの課題を設定し、学習計画を見直す。（1）気づく力 やりぬく力

【情報の収集】

○グループごとの計画を基に、課題解決に向け調査する。（4）やりぬく力

○追究したい問いを解決するために、詳しい方の話を聞く（インタビューする）。（2）

やりぬく力 自分で考えて動く力

【整理・分析】

○グループごとに集めた情報を整理する。（2）やりぬく力

【まとめ・創造・表現】

○グループごとに計画を実行したり、新たな企画を考えたりする。（6）

やりぬく力 自分で考えて動く力

○実行したことや企画したことの報告会を行う。（2）やりぬく力

【ふりかえり】

○これまでの活動と自分が学んだことをふり返る。（1）やりぬく力 自分で考えて動く力

【情報の収集】

○地域の人の想いや願いについて知る。（3）自分で考えて動く力

【課題の設定】③（調査隊ジャンプ!!!）

○地域の人の想いや願いに寄り添うために自分たちにできることをグループごとに考える。（4）

気づく力 やりぬく力 自分で考えて動く力

【情報の収集】

○グループごとの計画を基に、課題解決に向け調査する。（6）やりぬく力

【まとめ・表現】

○グループごとに計画を実行したり、企画を提案したりする。（3）やりぬく力

【ふり返り】

○単元の学習をふり返る。（1）やりぬく力 自分で考えて動く力

(1) 本時の目標

- ・それぞれのテーマに関する個人の問いをグループで共有して整理し、グループで追究したい問いを整理することができる。

(2) 本時の評価規準

B 自他の意見を大切にし、自分にできることを見つけて行動しようとしている。

A 自他の意見を大切にし、友達とサポートし合って（時には役割分担して）行動しようとしている。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
情報の収集・課題の設定 5分	<p>1 問いと学習内容をふり返る。</p> <p>2 本時の課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>テーマに関する問いを整理して、自分たちが追究したい問いを決めよう。</b></p>	<p>○問いがまとまっていない状況を視覚的にとらえさせることで、情報を整理する必然性を持たせる。</p> <p>○全員で育成を目指す資質・能力として、「やりぬく力」を設定し、その他、自分が意識したい力として「自分で考えて動く力」も意識させる。</p>
整理・分析① 15分	<p>3 個人の問いをグループで交流し、整理する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>お互いがどのような問いを持っているのか、交流してグループでまとめてみよう。</b></p>	<p>○まとめの形式、ふり返りの視点をあらかじめ示し、見通しを持たせておく。</p> <p>○話し合いが円滑に進むよう、話し合いのルールをあらかじめ伝えておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の付箋を読んで友だちに伝える。</li> <li>・共通点や相違点を見つけながら話し合う。</li> <li>・疑問に思ったことは聞いたり、相談したりする等、次の活動につながるように話し合う。</li> </ul> <p>★B:自他の意見を大切にし、自分にできることを見つけて行動しようとしている。</p> <p>A:自他の意見を大切にし、友達とサポートし合って（時には役割分担して）行動しようとしている。 (発言・行動観察)</p>
整理・分析② 15分	<p>4 全体で交流し、整理する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>各グループでまとめた内容を、全体で交流してみよう。</b></p>	<p>○新たな問いが出てきたグループについては、その経緯を発表させ、「自分で考えて動く力」の価値づけを行うことで、探究することの具体の姿を全体で共有できるようにする。</p>

まとめ・ふりかえり 10分	5 学習をまとめ、自分が追究したい問いをまとめる。 6 学習のふり返しをする。	○今日の話し合いを通して、「こだわって追究したい」と思う問いを選び、個人の探究課題の設定へとつなげる。  ○今日の学習でどんなところで「自分で考えて動く力」を高めることができたと思うか、また、「やり抜く力」についてはどうだったかについて、ふり返しをする。
------------------	--	---